令和５年度事業報告

社会福祉法人あしたば福祉会

１．法人の理念・基本方針

１．法人の理念

障がいのある人の人権が尊重され、安心して生活できるよう支えます。

２．法人の基本方針

・障がいのある人が地域で当たり前の生活を送ることができるよう「働くこと」と「暮らすこと」を支援するサービスの提供を図ります。

・利用者主体のサービスの充実を図るよう努めます。

・利用者が充実した人生を送るために、支援する職員の資質の向上を図ります。

２．総括

令和５年度も法人の理念・方針及び事業計画に従って、事業を展開いたしました。

令和５年５月８日にコロナウィルスが感染症法上の５類に移行することにより、国の方針も個人の選択を尊重した取り組みを基本とした対応へと変わりましたが、高齢者施設等のリスクの高い方に対しては配慮ある対応を求められました。

当法人の運営する事業も高齢者施設等に準ずる事業所として、マスクの着用、換気、手洗い、アルコール消毒等感染予防対策を継続しながら事業を実施しました。コロナウィルスの感染拡大により中止されていた行事が再開するものも多くなり、利用者の社会参加が進められたことは喜ばしいことです。

特に令和５年度は三重県障がい者芸術文化祭が鳥羽市で開催されたため、利用者の個性豊かな作品が多く出展でき、その中で受賞した作品もあったことはさらなる意欲に繋がったと思われます。

運営面では法人の事業を総合的にみると前年よりさらに厳しい状況にありました。特に就労継続支援Ｂ型事業は、令和５年１２月に定員を２５名から２０名に変更したことにより若干上向きになったものの、利用者の逝去や転居等利用者減により大幅の収益の減収を余儀なくされました。反面自主商品の取り組みにおいては地域の他の業種の方たちとの連携により個性が発揮できる商品の開発が進められました。

短期入所事業についてはコロナウィルス感染拡大以来利用がありませんでしたが、令和５年５月より継続的な利用があり、収益が増加しました。

令和６年１月１日に能登半島地震が発生し、当地が巨大地震の発生が予想されるだけに災害時における対応に当法人のみならず、事業所間のネットワーク等にも真剣に取り組む必要があると感じました。また災害時には地域の方との更なる連携強化が求められていることもあり、市総務課防災危機管理室の協力により、コラボさんとともに赤崎ハイツ管理組合及びハイツ赤崎町内会と大規模な土砂災害や地震等の災害時に避難所として使用できることの覚書を交わすことができました。

地域自立支援協議会等での事業所間や関係機関等の連携も進め、障がいのある方の支援の向上を図るよう努めました。

３．役員会

（１）評議員会

開　催　日	議　　事
令和５年６月２０日(火) １０時～	１．令和４年度事業報告（案）について ２．令和４年度収支決算（案）について ３．理事・監事候補者について ４．事業の進捗状況について ６．その他
令和６年３月２７日（水） １０時～	１．令和５年度第１回収支補正予算について ２．令和６度事業計画（案）について ３．令和６年度収支予算（案）について ４．事業の進捗状況について ５．その他

（２）理事会

開　催　日	議　　事
令和５年６月５日(月) １０時～	１．令和４年度事業報告（案）について ２．令和４年度収支決算（案）について ３．評議員会の開催について ４．理事・監事候補者について ５．事業の進捗状況について ６．その他
令和５年６月２０日（火） １１時～	１．新理事長の選定について ２．その他
令和５年１１月９日(木) １０時～	１．事業の進捗状況について ２．あしたば作業所運営規程の一部改正（案）について

	３．共同生活援助事業所あしたば運営規程の一部改正（案）について ４．その他
令和６年３月１９日（火） １０時３０分～	１．令和５年度第１回収支補正予算（案）について ２．令和６年度事業計画（案）について ３．令和６年度収支予算（案）について ４．評議員会の開催について ５．給与表の改正について ６．役員等賠償保険契約について ７．あしたば作業所運営規程の一部改正（案）について ８．共同生活援助事業所あしたば運営規程の一部改正（案）について ９．短期入所事業所安久志ホーム運営規程の一部改正（案）について １０．事業継続計画の策定について １１．感染対策指針について １２．事業の進捗状況について １３．その他

（３）内部経理監査

令和５年５月２９日（火） ９時３０分～１１時	理事１名による経理監査の実施

（４）監事監査

令和５年５月３０日（水） １０時～１４時３０分	監事による令和４年度監査の実施

４．地域における公益的な取り組み

・障害福祉サービス(短期入所事業)の利用者負担軽減制度
・緊急時における場の確保
・「制度の狭間の課題」に対応する「みえ福祉の『わ』創造事業」への参画

５．就労継続支援Ｂ型事業所『あしたば作業所』

今年度は、昨年度に比べ開所日は増えましたが、利用者の転居や逝去されたこともあり、延べ利用人数は減少しました。

作業については、水福連携のロープのくぎ抜き作業を令和２年９月より年間を通していただくことが続いており、牡蠣のコレクターの作業も春にいただきました。水福連携の作業は定着してきたのではないかと思われます。

新たにしごと部会より、牡蠣のしぐれ煮のおみやげ品の箱を作り、商品を入れ、シールを貼るという作業を７月にいただきました。

水福連携の作業は、多くの方が意欲的に取り組んでいることが続いています。おみやげ品は短期の作業ではありましたが、作業内容の変化は、利用者の方の作業意欲にも結び付いているように思われます。

６～１２月にあじへい（志摩)、イオン伊勢、ココス（志摩)、コメダ珈琲店（伊勢)、ぎゅーとら（鳥羽)、サイゼリヤ（伊勢)、すき家（伊勢)

から好きな場所を選んでもらい、職員１名と少人数のグループに分かれて昼食に出かけました。

今回の反省を踏まえて、今後の行事のあり方を考えていきたいと思います。

（１）工賃実績報告（年間の推移）

令和４年平均工賃	２２，３８８円
令和５年平均工賃	２７，６９４円

（２）作業収入（前年度比較）

	令和４年度	令和５年度	差額
受託事業	6,459,630	6,930,615	470,985
下請作業収入	1,008,912	822,108	△186,804
自主製品事業収入	704,475	788,462	83,987

（３）職員体制

管理者、サービス管理責任者、事務職員（生活支援員兼務）　生活支援員１名

職業指導員３名、目標工賃達成指導員１名

（４）月別作業所利用状況（延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
３５１	３５５	３９６	３５８	３６０	３４５

10月	11月	12月	1月	2月	3月
３９８	３５２	３４９	３２７	３３２	３５２

平均３５６名（昨年度３８８名）

（５）年間行事実施内容　　５年度

４月１８～ ２１日	ぎゅーとらで買い物をしての昼食
５月２５・２６日	弁慶の出前での昼食
６月１９日・ ２２・２３日 ２６～３０日	イオン伊勢、サイゼリヤ（伊勢）、ぎゅーとら（鳥羽）、ココス（志摩）、コメダ珈琲店（伊勢）、あじへい（志摩） に分かれて昼食
６月６日	土砂災害机上訓練
７月１９～ ２１日 ２４～２８日 ３１日	イオン伊勢、サイゼリヤ（伊勢）、ぎゅーとら（鳥羽）、ココス（志摩）、コメダ珈琲店（伊勢）、あじへい（志摩）、すき家（伊勢） に分かれて昼食
８月 ２１～２５日 ２８～３１日	イオン伊勢、サイゼリヤ（伊勢）、ぎゅーとら（鳥羽）、ココス（志摩）、コメダ珈琲店（伊勢）、あじへい（志摩）、すき家（伊勢） に分かれて昼食
８月２５日～ １０月６日	健康診断(山崎整形外科)
９月 ２０～２２日 ２５～２９日	イオン伊勢、サイゼリヤ（伊勢）、ココス（志摩）、コメダ珈琲店（伊勢）、あじへい（志摩）、すき家（伊勢） に分かれて昼食
１０月１２・ １６日	避難訓練
１０月 １８～２０日 ２３日・ ２５～２７日 ３０日	イオン伊勢、サイゼリヤ（伊勢）、ココス（志摩）、あじへい（志摩）、すき家（伊勢） に分かれて昼食
１１月 １３日・ １５～１７日 ２０・２４・ ２７日	イオン伊勢、サイゼリヤ（伊勢）、ココス（志摩）、あじへい（志摩）、すき家（伊勢） に分かれて昼食
１２月８日 １１日・	イオン伊勢、ココス（志摩）、あじへい（志摩）、すき家（伊勢）コメダ珈琲店（伊勢）

１３～１５日 １８日 ２０～２１日	に分かれて昼食
３月１２日	避難訓練
３月１９日	土砂災害避難

・絵画教室　　毎月第３火曜日
・スポーツ教室及び音楽サークルは中止

６．共同生活援助事業所あしたば

「道芝ホーム」「安久志ホーム」の２共同生活住居で定員８名の事業を実施しました。コロナウィルスが感染症法上の５類に移行しましたが、６月から７月にかけて６回目のコロナワクチン接種も含め、基本的な感染予防対策を維持しつつ、事業を進めました。ＴＯＢＡひだまりフェスタ等地域や市で行われるイベントも再開され、社会参加も促されました。５丁目の夏祭りも再開し、地域の方との交流を進めることができました。

（１）職員体制　管理者(兼務)、サービス管理責任者（兼務）生活支援員３名（２名非常勤）世話人４名（非常勤３名）

（２）年間行事報告

実施日	内　　容
６月１７日	障害者互助会体育祭（総会含む）６名参加
７月１６日	５丁目町内清掃参加　８名参加
８月６日	５丁目夏祭り参加　６名参加
１０月１４日～１５日	防災デイキャンプ参加（職員のみ）
１１月３日～４日	市民文化祭参加　９名参加
１１月１１日	TOBA ひだまりフェスタ９名参加
１１月１８日	互助会研修旅行（志摩スペイン村）５名参加
１１月２６日	避難訓練（市合同総合防災訓練）６名参加
１２月１日～２日	三重県障がい者芸術文化祭　　１０名参加
１２月 10 日	障害者の日記念事業参加　７名参加
３月１７日	ディスカバーウォーク in なかまち　５名参加

３月２５日	避難訓練　８名参加

７．短期入所事業所　安久志ホーム（グループホーム併設型）

令和３年６月に事業を再開後も、コロナウイルス感染を懸念されるため、ショートステイの利用がありませんでしたが、令和５年より１名の方の継続的な利用がありました。また市社会福祉協議会からの依頼により２週間程度の緊急用ショートステイの利用があり、グループホームの利用には至らなかったものの緊急時に利用できる場の確保が重要であると認識を新たにしました。

（１）職員体制

職員　管理者　生活支援員２名（非常勤１名）

世話人（グループホーム調理担当兼務）

（２）月別利用状況

４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	１２月	１月	２月	３月
０	４	８	６	６	６	１０	１２	１２	１４	１５	１４

８．研修等

開催日	内　　容	実施主体
４月２６日	安全運転管理者講習	三重県公安委員会
５月２日	新型コロナウイルス感染症の位置づけの変更後の集団感染事例への対応（Zoom）	県障がい福祉課
７月１日	ひきこもりサポーター養成講座	鳥羽市社会福祉協議会
５月１２日～８月３１日	令和５年集団指導（インターネット配信）	三重県子ども福祉部
８月３０日	精神障害者の方の理解について（Zoom）	伊勢志摩圏域地域自立支援協議会　人材育成支援部会
８月１０日～１７日	令和５年度相談支援従事者初任者研修(YouTube)	三重県社会福祉協議会
９月１０日	れんげの里自閉症講習会	社会福祉法人おおすぎ
１０月１３日～２７日	サービス管理責任者基礎研修(YouTube)	三重県社会福祉協議会
１０月２５日	障害者虐待の理解について～無意識のうちに「障がい・・・」になっていませんか？～	基幹相談支援センターキ・ラ・ラ
１１月１７日	働き方改革関連法について他（オンライン）	厚生労働省

		三重県労働局
１１月１７日	サービス管理責任者研修（演習）	三重県社会福祉協議会
１２月１２日	「知っておきたい！成年後見制度活用講座」	鳥羽市社会福祉協議会
２月１６日	三重県障害者虐待防止・権利擁護研修	三重県
３月２７日	虐待する心のメカニズム	キ・ラ・ラ

＊第２水曜日鳥羽市地域自立支援協議会くらし・相談支援部会参加
第３水曜日鳥羽市地域自立支援協議会しごと部会参加
毎週火曜日ケア会議
第３火曜日施設内研修